

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-255565(P2013-255565A)

【公開日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-069

【出願番号】特願2012-131882(P2012-131882)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 G

A 4 1 B 13/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

肌対向面側に配された表面シート、非肌対向面側に配された裏面シート、これら両シート間に配された縦長の吸収体を備え、該吸収体は、装着者の腹側に位置する腹側部と背側に位置する背側部及びこれらの間に位置する股間部を有し、該吸収体と該表面シートとの間に液透過性の中間シートを備えた吸収性物品であって、

前記吸収体は、吸収ポリマーを含む吸収性コアを有し、

前記吸収性コアは、相対的に坪量が高い凸状の複数の凸部及び各該凸部を囲む相対的に坪量が低い溝部からなるブロック構造が腹側部から背側部に亘って縦方向に複数配されたブロック領域を有し、

前記中間シートは、前記吸収性コアの前記ブロック領域の一部を覆い、該中間シートの縦方向の長さが前記吸収性コアの前記ブロック領域の縦方向の長さよりも短く、該吸収性コアの腹側部側に偏って配されており、

前記吸収体は、前記吸収性コアを包む被覆材を有し、該被覆材と前記中間シートとが接着剤により固定されており、

前記接着剤は、前記ブロック領域を構成する前記凸部を縦方向に縦断するように縦方向に一直線状に塗工されており、前記吸収性物品の横方向に間欠的に塗工されている吸収性物品。

【請求項 2】

肌対向面側に配された表面シート、非肌対向面側に配された裏面シート、これら両シート間に配された縦長の吸収体を備え、該吸収体は、装着者の腹側に位置する腹側部と背側に位置する背側部及びこれらの間に位置する股間部を有し、該吸収体と該表面シートとの間に液透過性の中間シートを備えた吸収性物品であって、

前記吸収体は、吸収ポリマーを含む吸収性コアを有し、

前記吸収性コアは、相対的に坪量が高い凸状の複数の凸部及び各該凸部を囲む相対的に坪量が低い溝部からなるブロック構造が腹側部から背側部に亘って縦方向に複数配されたブロック領域を有し、

前記中間シートは、前記吸収性コアの前記ブロック領域の一部を覆い、該中間シートの縦方向の長さが前記吸収性コアの前記ブロック領域の縦方向の長さよりも短く、該吸収性コアの腹側部側に偏って配されており、

前記吸収性物品は、縦方向に沿う両側部に一對の立体ギャザーを有しており、

背側部においては、各前記立体ギャザーを形成する立体ギャザー形成用シートと前記表面シートとの固定位置が、前記中間シートよりも縦方向外方であり且つ前記吸収性コアの縦方向に沿う両側部それぞれに位置する非ブロック領域上である吸収性物品。

【請求項 3】

前記吸収性コアは、股間部において内方に括れた括れ部を有しており、

前記中間シートは、縦方向においては、前記吸収性コアの前記括れ部を跨いで腹側部から背側部に延在している請求項 1 又は 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記吸収性コアは、前記ブロック領域の外周を囲む非ブロック領域を有しており、

前記中間シートは、横方向においては、前記ブロック領域を越え、前記吸収性コアの縦方向に沿う両側部それぞれに位置する非ブロック領域に達している請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の吸収性物品。